令和２年度　事業報告

Ⅰ　事業概況

現在我が国におきましては、高齢化や人口減少が急速に進んでいく中で、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわりなく活躍し続けることのできる「生涯現役社会」の実現が求められるとともに、地域社会におきましては、現役世代の支え手や様々な課題の解決の担い手としてシルバー人材センターに期待が寄せられているところであります。

このような中、当センターにおきましては、平成31年3月に、センターの進むべき方向と担うべき役割を明らかにした「第4次基本計画」を策定し、就業機会の拡大や会員の拡充など生涯現役社会の実に寄与するとともに、労働者派遣事業や介護予防日常生活支援事業等により、現役世代を支える分野での労働力確保や地域の課題に対応した取組みを進めてきたところであります。

しかしながら、令和2年度におきましては、新型コロナウィルス感染症により当センターの事業全般にわたって大きな影響を受け、受託事業（請負・委任）の契約金額につきまして6億3,913万円余、前年度に比べ3,356万円余、5.0%の減となったところであり、会員数につきましても、企業において定年の引上げや継続雇用制度の導入等が定着してきたことも相まって、1,474人、前年度に比べ147人、9.1%の大幅な減となったところであります。

今後とも、「第4次基本計画」に計上した施策事業について、環境の変化に対応したより実施効果の高いものへの転換や重点化などを図りながら、計画目標の達成に向けた取組みを一層推進することにより、地域に根差した公益法人としての役割を果たして参ります。

Ⅱ　シルバー人材センター事業

1　就業機会提供事業

(1)　会員の状況

年度当初1,621人の会員数でスタートし、ピーク時には1,635人にまで達しましたが、その後、年度末まで減少し、年度当初より147名減少し1,474人となりました。

入会理由は、生きがい・社会参加が84人で全体の 49.4％を占め、次いで経済的理由が30人で全体の17.6％となりました。

退会理由は、病気が76人で全体の24.0％を占め、加齢が65人で全体の20.5％となりました。

年齢別会員構成は、前年度と同じく70歳～74歳が587人で全体の39.8％と最大であり、次いで75歳～79歳が378人で全体の25.6％となりました。

［会員登録の状況］

区分	令和元年度（人）			令和２年度（人）			対比増減（人）			増減率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
入　会	138	85	223	106	64	170	△ 32	△ 21	△ 53	△ 23.2	△ 24.7	△ 23.8
退　会	136	92	228	191	126	317	55	34	89	40.4	37.0	39.0
会員数	1,145	476	1,621	1,060	414	1,474	△ 85	△ 62	△ 147	△ 7.4	△ 13.0	△ 9.1

［入会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
生きがい・社会参加	84 人	49.4 %
経済的理由	30 人	17.6 %
時間的余裕	28 人	16.5 %
健康維持・増進	24 人	14.1 %
仲間作り	3 人	1.8 %
その他	1 人	0.6 %
計	170 人	

［退会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
病気	76 人	24.0 %
加齢	65 人	20.5 %
希望する仕事なし	51 人	16.1 %
就業機会なし	32 人	10.1 %
その他で就職	27 人	8.5 %
家庭の事情（介護等）	19 人	6.0 %
死亡	15 人	4.8 %
転居	14 人	4.4 %
その他	14 人	4.4 %
未回答（不明）	2 人	0.6 %
センターに対する不満	1 人	0.3 %
会費未納	1 人	0.3 %
計	317 人	

［年齢別会員構成］

区　分	60 未満	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 以上	計（人）
男（人）	0	25	194	429	273	139	1,060
女（人）	0	21	84	158	105	46	414
計	0	46	278	587	378	185	1,474
比　率（%）	0.0	3.1	18.9	39.8	25.6	12.6	

(2)　請負・委任による事業実績

①　受託件数

受託した仕事の件数は、10,230件でした。内訳は、公共事業598件（5.9％）、民間事業(一般家庭含む)9,569件（93.5％）、独自事業63件（0.6％）でした。

②　就業人員

年間就業延人員は、101,964人でした。年間就業実人員は、1,058人となり、就業率は71.8％でした。

③　事業収入

受託事業収入は、639,139,035円となり、前年度との比較では33,566,467円（5.0％）減の実績となりました。

職群別契約金額の主なものとしては、除草や屋外雑役など一般作業群が最も多く、295,319,656円（46.2％）、次いで駐輪場・駐車場管理など管理群の228,375,065円（35.7％）、３番目が植木せん定や表具表装など技能群の79,910,943円（12.5％）で、以上の３職群で全体の94.4%を占めています。

［事業実績］

区　分		受託件数（件）	延人員（人日）	契　約　金　額　（円）			
				配分金	材料費	事務費	契約金額
技　術		0	0	0	0	0	0
技　能		2,110	8,017	61,444,931	12,628,506	5,837,506	79,910,943
事務整理		438	2,961	9,628,664	0	884,873	10,513,537
管　理		271	30,271	170,513,668	40,950,606	16,910,791	228,375,065
折衝外交		33	262	1,322,766	0	132,269	1,455,035
一般作業		6,248	53,951	249,486,342	20,939,248	24,894,066	295,319,656
サービス		1,130	6,502	20,806,337	519,080	2,239,382	23,564,799
そ の 他		0	0	0	0	0	0
合　計		10,230	101,964	513,202,708	75,037,440	50,898,887	639,139,035
公　共		598	36,648	218,441,901	48,011,771	21,822,632	288,276,304
民間	企　業	3,692	44,259	184,021,523	10,865,010	18,266,646	213,153,179
	家　庭	5,877	19,557	107,608,226	15,831,859	10,679,411	134,119,496
独　自		63	1,500	3,131,058	328,800	130,198	3,590,056
合　計		10,230	101,964	513,202,708	75,037,440	50,898,887	639,139,035

(3)　労働者派遣事業

労働者派遣事業は、60歳以上の派遣労働を希望する会員に対し、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る派遣労働を提供する事業です。契約金額の前年度との比較では4,622,495円（11.1%）減の実績となりました。

区　分	令和元年度	令和2年度	増　減
派遣登録会員数（人）	172	153	△ 19
受注件数（件）	84	71	△ 13
労働実人員（人）	107	74	△ 33
就業延人員（人日）	8,766	7,079	△ 1,687
契約金額（円）	41,472,838	36,850,343	△ 4,622,495
協力費額（円）	3,472,655	2,579,499	△ 893,156

(4)　職業紹介事業

職業紹介事業は「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る雇用就業を提供する事業です。

手数料の前年度との比較では118,391円（32.6%）減の実績となりました。

区　分	令和元年度	令和2年度	増　減
求人事業所（件）	19	10	△ 9
求人数（人）	45	17	△ 28
新規求職申込件数（件）	61	23	△ 38
就職人数（人）	11	4	△ 7
賃金額（円）	3,359,182	2,244,440	△ 1,114,742
手数料（円）	362,767	244,376	△ 118,391

2　就業機会確保事業

(1)　普及啓発事業

①　会員による「口コミ運動」を実施しました。

②　会報「シルバーだより」を発行し（令和2年10月1日）、全会員に配付しました。

③　「広報うつのみや」において、会員募集記事及び受注可能な仕事例を掲載し、センター事業のPRに努めました（4月号及び11月号）。

④　宇都宮市主催の「介護予防・日常生活支援総合事業従事者研修」の最終日、修了者に対し、センター事業(主に総合事業)のPRを行いました(年間4回)。

⑤　宇都宮市市役所1階ロビーにてシルバーパネル展を開催し、シルバー人材センター事業のPRを実施しました（10/19～23）。

⑥　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「60歳からのいきいきライフセミナー」に参加し、会員による事例発表及びパネル展示を行い、入会PRに努めました。

⑦　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「高齢者活躍人材育成事業」の講習会閉講式に参加し入会促進に努めました(年間4回)。

⑧　「高齢者活躍人材育成事業」の就業体験で、一般の方に公園の清掃作業や施設管理、独自事業の石けん作りの体験を実施し、入会促進を図りました。

⑨　みやシニア活動センターなど高齢者の健康と生きがい作りを推進する団体と連携を強化し、センター事業の周知を図りました。

(2)　安全・適正就業推進事業

①　安全就業推進事業

会員の就業時における事故防止策を推進するため、安全委員会において安全就業推進計画を策定し、【就業における事故ゼロ】の目標達成に向けて計画を推進しました。

また、熱中症予防やスズメバチ、交通事故などの注意啓発文書を就業案内と共に配付し、安全についての意識を高めるよう努めました。

ア　安全パトロール

7月及び11月を安全就業の重点月間とし、重点パトロールを実施するほか、それ以外の月は通常パトロールとして月1回実施しました。

区　　分	宇都宮事務局				北部事業所			
	実施日	日　数	巡回箇所	延日数	実施日	日　数	巡回箇所	延日数
重点パトロール	7/21、27、28 11/4、24、27、30	7日間	21箇所	17人日	7/14、28～29、31 11/4～6	7日間	13箇所	12人日
通常パトロール	6/15、8/25、9/14、10/19、12/22、1/25、2/26、3/29	8日間	24箇所	16人日	6/15、8/24、9/16、10/19、12/4、1/26、2/17、3/26	8日間	14箇所	10人日

イ　安全ニュースの発行

四半期毎（6月・9月・12月・3月）に保険の解説や、事故発生状況などを紹介しました。

ウ　安全標語の募集

12月から募集を開始し、37人の会員の方々から127作品の応募がありました。

3月の安全委員会において審査を行い、令和3年度就業案内や安全ニュース等で掲載する標語を選定しました。

◇　最優秀作品　「無理しない　歳と体を　わきまえて」

エ　消防訓練の実施

管理業務に就業する会員を中心に消防訓練を実施し、会員の安全意識の高揚に努めました。

○　河内農業構造改善センター

実施日	8月6日	3月8日
参加者	12名	8名

○　市営自転車駐車場

中央消防署から資料を取り寄せ、各駐輪場に配付することにより周知を行いました。

オ　会員事故報告

「目標」である「事故ゼロ」にむけ、会員への周知及び安全意識の啓発に努めましたが、前年度と比較して1件増加するとともに、就業途上での死亡事故が1件発生しました。

区　分	令和元年度			令和２年度			増　減
	件　数	事故日		件　数	事故日		
		H30	R元		R元	R2	
傷害保険	10 件	3 件	7 件	10 件	5 件	5 件	0 件
賠償保険	7 件	0 件	7 件	8 件	0 件	8 件	1 件

※　年度内に保険金の支払いがあったものを集計

②　適正就業推進事業

会員及び発注者にシルバー人材センターの適正就業ガイドライン等でセンター事業のシステムを明示し、適正就業の理解と協力を求めました。

就業規約に基づき、継続就業期間が基準を超えないよう複数会員による交代制（わかちあい）就業を実施するとともに、就業案内等で交代会員の通知・募集を行うことにより、適正

就業の推進並びに公平な就業機会の提供に努めました。

請負・委任に適しない事業については、依頼主に労働者派遣事業や職業紹介事業への切り替えを依頼しました。

(3)　就業開拓事業

①　新入会員説明会は、緊急事態宣言発出中は開催を中止、それ以外の期間は密を避けるなど感染防止を徹底しながら、予約制として開催しました。

［令和２年度事業所別入会者数］

宇都宮事務局	北部事業所	計
140 人	30 人	170 人

②　職群班会員等による就業先近隣家庭へパンフレットを配布し、受注拡大の促進に努めました。

③　職群班（植木・除草・ホームサポート等）を中心に事務局・事業所間の連携を深め、円滑な事業運営ができるよう体制づくりに努めました。

(4)　研修・講習事業

会員の資質向上と就業機会の確保を図るため、以下の研修・講習会を開催しました。

研修・講習会名	講習日程	講習日数	参加延人員
接遇研修(駐輪場及び接客を伴う施設で就業する会員)	9月17日～18日	2 日間	169 人
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ講習会	12月18日	1 日間	4 人
刈払機取扱作業者安全衛生教育講習会(連合)	2月25日	1 日間	20 人
植木せん定講習会	3月16日～18日	3 日間	71 人

※　(連合)と記載のあるものは、（公財）栃木県シルバー人材センター連合会主催の支援により開催したものである。

(5)　独自事業

会員の就業機会を確保するため、会員の創意と工夫により以下の独自事業を実施しました。

今年度はコロナウィルス感染症拡大防止のため、参加するイベントが中止になったことや、1月から食堂を休業したことにより、全体の実績は大幅に落ち込みました。

事業内容	令和元年度		令和2年度		増　減	
	延人員（人日）	金　額（円）	延人員（人日）	金　額（円）	延人員（人日）	金　額（円）
編みぐるみ創作	803	471,762	640	498,616	△ 163	26,854
刃物砥ぎ	2	3,300	4	4,510	2	1,210
豆ぞうり創作	0	0	0	0	0	0
石けん製作	127	106,310	47	29,900	△ 80	△ 76,410
門松製作	158	1,164,000	159	1,114,000	1	△ 50,000
食堂運営	957	3,882,150	650	1,943,030	△ 307	△ 1,939,120
計	2,047	5,627,522	1,500	3,590,056	△ 547	△ 2,037,466

(6)　相談・調査事業

宇都宮事務局においては4月から11月までは月2回、12月から2月までは月1回、また北部事業所においては、4月から2月まで毎月1回役員による新入会員説明会後の面談を行い、新入会員の就業相談を行うとともに、本部においては原則毎週水曜日に、北部では第2・第4木曜日に世話役及び職員が中心になって就業相談を行い、就業機会の提供に努めました。

実施に当たっては密を避けるため、予約制としました。

区　分	年間開催回数	参加延人数
本　　部	40 回	387 人日
北　　部	31 回	41 人日
合　計	71 回	428 人日

(7)　地域貢献事業

女性部会のメンバーによる「ぞうきん製作」を行い市立築瀬小学校へ寄贈しました。

活動日	ボランティア内容	参加人数
毎月第4金曜日	ぞうきん100枚製作 市立築瀬小学校へ寄贈（2/26）	平均5名の参加

※　北部事業所にて毎年実施していた奉仕作業については、コロナ禍により中止しました。

(8)　高齢者活用・現役世代サポート事業

地域における人手不足分野等に係る取組みを行い、就業希望者とのマッチングにより就業拡大を推進しました。

(9)　介護予防・日常生活支援総合事業

平成30年９月にサービスの提供を開始し、今年度の事業実績は、昨年度よりも増加しました。

［事業実績］

区　分		令和元年度	令和2年度	増　減
受託件数（件）		55	62	7
延人員（人日）		209	286	77
契約金額（円）	配分金	298,972	386,288	87,316
	材料費	0	0	0
	事務費	166,630	217,261	50,631
	計	465,602	603,549	137,947

3　法人運営

(1)　定時総会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第41回定時総会	令和2年 6月12日	報告　1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度収支補正予算について 3 令和2年度事業計画について 4 令和2年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 議案　1 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター会費規程の一部改正について 2 令和元年度決算について 3 役員の選任について

(2)　理事会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第1回理事会	令和2年 5月22日	報告　1 専決処分の報告について（令和2年4月） 2 令和元年度事業実績及び業務状況報告につい（令和2年2月～3月） 議案　1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度決算報告について 3 役員候補者について 4 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター会費規程の一部改正について 5 地域班世話役の選任について 6 表彰候補者について 7 第41回定時総会の開催について その他　1 新型コロナウイルス感染症対策について
第2回理事会	令和2年 6月12日	議案　1 代表理事等の選任について 2 部会の理事構成について
第3回理事会	令和2年 9月11日	報告　1 専決処分の報告について(令和2年5月～8月) 2 令和2年度事業実績及び業務状況・職務執行状況報告(理事長・副理事長・専務理事)について (①事業実績等報告　：令和2年4月～7月) (②職務執行状況報告：令和2年3月～8月) 議案　1 事務局機能の強化について 2 地域班世話役の選任について その他　1 栃木県内の新型コロナウイルス感染の警戒度レベル引上げに伴う対応について

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第4回理事会	令和2年 12月14日	報告　1 専決処分の報告について(令和2年9月～11月) 2 令和2年度事業実績及び業務状況報告について(令和2年8月～10月) 3 第4次基本計画における各種施策の進捗状況について 4 設立40周年記念事業の開催について 5 事務局職員の期末手当に係る支給率の改定について 6 事務局組織一元化に伴う北部事業所の具体的実施業務等について 議案　1 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター衛生委員会規程の制定について 2 地域班世話役の選任について その他　1 栃木県立入検査の結果報告について
第5回理事会	令和3年 3月12日	報告　1 専決処分の報告について （令和2年12月～令和3年2月） 2 令和2年度事業実績及び業務状況・職務執行状況報告(理事長・副理事長・専務理事)について (① 事業実績等報告:令和2年11月～令和3年1月) (② 職務執行状況報告:令和2年9月～令和3年2月) 議案　1 不能欠損処理について 2 令和2年度収支予算の補正（第１号）について 3 役員賠償責任保険の加入について 4 令和3年度事業計画について 5 令和3年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 6 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター就業規則の一部改正について 7 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について 8 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター嘱託員就業規程の一部改正について 9 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター臨時職員就業規程の一部改正について 10 地域班世話役の選任について その他　1 令和3年度職員体制について 2 個人情報保護法について（役員研修）

(3)　監査の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
監　　査	令和2年 5月14日	令和元年度事業報告及び決算について

Ⅲ　事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。